

項目	番号	意見	対応策	担当課
事業の促進	1	河川道路工事の進捗が、目に見えて確認できつつあるが、特に河川は住民の命に関わるので、優先的に進めてほしい	河川の整備には協力しても良いという方もおられますので、河川の整備を先行していきたいと考えております。	熱海土木事務所
	2	市道引地堀坂支線工事の着手と完成時期について知りたい	着手日の具体的な日付については回答できる状況にありませんが、令和8年2月末に契約をし、令和8年9月30日頃の完成を予定しております。	都市整備課
	3	新砂防堰堤から上流について、人為的な土砂災害の発生を抑制するため、上流部砂防指定しないのか	現在、県として砂防指定を行う予定はありません。	熱海土木事務所
	4	伊豆山神社線道路拡幅の進捗状況を確認したい	計画範囲のうち、仲道公民館前の一部区間におきまして、拡幅実施に向けて、今年度に詳細設計を行っております。令和8年度中に用地測量、補償費の算出を行い、令和9年度に用地買収、令和10年度に工事着手を予定しております。	都市整備課
	5	中流部①の公園への行き方について、足腰に不安のある方もアクセスしやすいような道の整備をお願いしたい	岸谷1号線を下って川へ抜ける道、または伊豆山神社線の取付道路を下る道が考えられますが、坂道を下らないルート等に関しては、今後検討させていただきます。	都市整備課
	6	工事現場（伊豆山神社線の取付道路付近）から舞う砂埃を解消してほしい	工事が無い日にも砂埃が舞わないように、施工業者に伝えていきたいと思っております。	都市整備課
被災者支援・情報の充実	7	現地再建を希望する世帯へ向けた意向調査は実施したのか	現地再建希望者に限らず現時点で未再建・支援を継続している世帯については、まだ再建の意向を決めかねている方を含め把握しております。決めかねている方や意向をすでに把握している方でも時間の経過や生活状況の変化などにより再建意向が変わる場合がありますので、一時入居している居所の更新の時期や生活状況の変化などの情報を入手した場合に電話や面談による再建意向の変化、再建に向けた進捗状況の把握を継続していきます。 あわせて、発災から5年の節目として被災された方への身体や精神面での健康状態についてのアンケート調査の実施を検討しております。	長寿介護課
	8	コミュニティ防災センターの太陽光発電の発電量の想定について知りたい	本施設に設置している蓄電池の蓄電容量は15kw。太陽光パネルの発電量は9.96kw(1枚415w×24枚)となっております。上記パネルのみを使用した場合およそ日中4～6時間で蓄電池が満充電になると想定しております。また、本施設はUXコネクタを設置しておりますので、悪天候が続いた際にも電気自動車等を用いた外部電源からの電力供給が可能です。 参考といたしまして、一般家庭において最低限の生活を1日まかなうにはおよそ5.1kwの電力が必要になるといわれており、余裕を見てもおよそ2.3日分の運用が可能です。 本設備の運用につきましては、発災時から電力が復旧するまでの「つなぎ」として考えております。停電時における情報収集や、夜間の安全確保のための最低限の電力を維持し、インフラ復旧までの不安を解消することを主な目的としています。	危機管理課
	9	慰霊碑建立について、検討の場の概要（進め方や参加範囲、建立時期）を知りたい。また、被災者等へ進捗の逐一の情報提供をお願いしたい	検討の場については、遺族の方々全世帯に検討の場への参加の意向調査を行い、参加希望者を集めて開催します。また、建立時期は遺族の意向を踏まえ、柔軟に対応してまいります。検討結果の報告については、伊豆山復興まちづくり通信により、報告をしてまいります。	都市整備課
	10	マンホールトイレの下水処理方法および臭い対策について知りたい	マンホールトイレは下水管に直結させ、水で流す構造になっています。また、臭いが外へ漏れないような対策を想定しておりトイレ内に脱臭効果のあるものを設置する対策もありますが、完全に臭いを除去することは難しいと思われます。	危機管理課
	11	伊豆山復興相談窓口の開催方法について、地域コミュニティの場に行政が出向く、参加しやすい場所で行う等の対応をしてほしい	令和8年度より、伊豆山復興相談窓口を、いずさんっただけではなく、別の場所で開催することも考えております。詳しい場所、日時については別途ご連絡させていただきます。	都市整備課
	12	資料1－1の⑩の意見に対する対応策で、『町全体のイメージを行政、住民と共有』とあるが具体的に何をするのか	地区の意見交換会や説明会にて、行政と地域住民がイメージについて話し合うことを想定しています。	都市整備課
	13	復興基本計画において、令和8年度末が中期計画の期限となっているため、事業の振り返りと今後の方針を示してほしい	奇数回の懇話会において、前年度の実績報告をしております。次回開催時に必要項目を整備の上、ご説明する予定です。	都市整備課

第6回 熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会での意見及びその対応

項目	番号	意見	対応策	担当課
その他	14	コミュニティ防災センターの一時的な避難所としての快適性を高めてほしい	避難された方がなるべく快適に過ごせるように、段ボールベッドやパーティションの用意をしておりますが、供用開始した後に他の方法についても検討させていただきたいと思います。	危機管理課
	15	土砂撤去の際、農地に復旧するとして、国へ補助金の申請をしているようだが、その場所は道路になる計画になっている。もらった補助金はどうするのか	ご指摘の箇所については、農地復旧に係る災害復旧補助金の対象区域から除外しており、補助金の返還等には該当しないと認識しております。	観光経済課
	16	慰霊碑には、犠牲者全員の名前の記載に加えて、土砂災害の再発防止の意思表示を明記してほしい	検討会にて遺族の意見・要望を募り、進めていきたいと考えております。	都市整備課
	17	説明会や意見交換会での回答を、電子機器を持たない人でも確認できるような仕組みを考えてほしい	伊豆山復興まちづくり通信でご案内の上、希望者に郵送、町内会へ回覧する等、紙を使用した方法を検討しております。	都市整備課
	18	帰還率の計算方法が間違っているのではないか	市としては帰還率にこだわることなく、すべて被災者が希望する再建を達成する支援を行うことで「再建率」１００％を目指してまいります。	長寿介護課
	19	Wi-Fi、光ケーブルは仮設で設置してもよいのではないか	現時点では、回線業者へのヒアリングにおいて「光回線の敷設は道路・河川工事完了後になる」との回答をいただいています。引き続き、金銭面で解決できるかどうかも含め、早期整備に向けて働きかけてまいります。	企画財政課
	20	目の前の課題だけにとらわれず、復興基本計画に沿って復旧・復興事業を進めてほしい	ただ、直したまちにならないように、地域住民の方々とイメージを共有できる場を活かしながら、復興事業の完了へ向けて進めてまいります。	都市整備課
	21	災害記録の伝承について、将来的な防災対策として機能するよう、行政による「部署横断的な一元管理および保存」が重要な方策の１つである	地域の方々の残した記録について、どのような形で残すのか相談させてください。/本災害の記録の重要性については承知しております。行政文書の保存方法については内部で検討させていただきます。	齊藤市長/ 鈴木副市長
	22	オンデマンドバスの運営について、行政からの支援をお願いしたい	熱海市地域公共交通計画では、既存公共交通の維持を目標に掲げています。実証運行において、既存交通へ与える影響や費用面などの課題等も見えてくるかと思しますので、金銭面の支援と含めまして実証運行の結果をもとに検証を行っていくものと考えています。	まちづくり課

※赤枠で囲われた箇所については第 7 回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会にて取り上げさせていただく意見になります